

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	鳥栖市立基里中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は、時間外勤務は一昨年度比較すると若干減ったが、働き方改革に対する職員の意識が高まっていなかったことが課題であった。 ・生徒は落ち着いた生活態度で、学習に行事に取り組んでいる状況である。今の状況を続けているのは、現在の取組が正しい方向である結果と思われる。今後も、今の状況を続けられるように、チェックを怠らないようにしていきたい。
------------------	--

2 学校教育目標	<p>「誇りと生きる力を身につけ、心身ともに豊かな基里っ子の育成」</p> <p>～元気なあいさつ・時間を守る・夢に挑戦～</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>(1) 小中一貫教育の充実</p> <p>(2) 教科「日本語」の充実</p> <p>(3) 教育相談の充実</p> <p>(4) コミュニティ・スクールの充実</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	○知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等を育成し、生徒が主体的に学ぶようになるための実践	○すべての教員が、各教科・領域において(単元を通した)問いを設定した課題解決的な授業を展開する。 ○校内授業公開を学年ごとに各1本行う。	・各学年1回の授業研究会を行う。 ・生徒の実態調査(事前調査・事後調査)を行う。 ・学習指導案モデルの作成と検討を行う。	A	・各学年において、問いを設定した課題解決的な授業の授業研究会を行うことができた。 ・授業研究会ごとに学習指導案モデルの作成と学年で検討会を行うことができた。	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○すべてのクラスで「ふれあい道徳」 ○全職員が人権・同和教育の重要性を認識するため、1人1回以上研修会に参加する。	・学年や学級の実情に合わせて、道徳教材の研究を継続的にを行い、情報交換をする。 ・担当を中心に各研修会の案内と参加の呼びかけを行い、参加・実施に努める。	A	・5月に「ふれあい道徳」を実施することができた。 ・道徳の研修会に、担当はもちろん担当者以外の若手の教員も参加し、研鑽を積むことができた。	A	・各学年で、道徳の授業を担当だけで行うことなく、学年の教員がすべて関わりながら行うことができた。	A	・心の教育は、大変重要なもので、担任だけでなく、色々な先生方の道徳の授業を受けられることは、子供たちの成長を促すことに役立っていると思われる。	道徳主任
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○月1回の生活アンケートの実施。 ○QUアンケートの「ばかにされた」の項目の否定的意見が80%以上。	・「いじめ・いのちを考える日」に「生活アンケート」を行い、生徒の実態を把握し、いじめの早期発見・早期解決につなげる。 ・定期的に学級・学年通信を発行する。 ・高校調べや職業体験等を生徒の発達段階に応じて行う。	A	・「いじめ・いのちを考える日」に「生活アンケート」を確実に実施し、些細なことでいち早く対応することができた。 ・前期アンケートでは、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒88.3%となり目標を達成した。 ・前期アンケートでは、「将来の夢や目標を持っている」と答えた生徒は、77.6%となり、さらなる進路指導の充実が求められる。	A	・学校は、いじめ防止や早期発見のために組織的に取り組んでいるかの質問に対し93.8%の教員、92%の保護者が肯定的な意見を述べている。 ・後期アンケートでは、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒86.4%となり前期より下がったが目標は達成した。 ・後期アンケートでは、「将来の夢や目標を持っている」と答えた生徒は、73.7%となり、さらなる進路指導の充実が求められる。	A	・保護者からいじめだけでなく、何かあったときはすぐに対応してもらっているという声がかかる。これからも続けていってほしい。	教育相談担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒82%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%	・1、2学期に教育相談を実施する。 ・スクールカウンセラーからの情報を生徒指導協議会で共有する。	B	・前期アンケートでは、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒88.3%となり目標を達成した。 ・前期アンケートでは、「将来の夢や目標を持っている」と答えた生徒は、77.6%となり、さらなる進路指導の充実が求められる。	B	・後期アンケートでは、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒86.4%となり前期より下がったが目標は達成した。 ・後期アンケートでは、「将来の夢や目標を持っている」と答えた生徒は、73.7%となり、さらなる進路指導の充実が求められる。	A	・「大人としゃべり場」では、自分の将来のことなどしっかりと話せている。発達段階で、現実が未理解できてきて、色々と将来への不安や心配が生まれてきているのではないだろうか。これからの学校の取組に期待する。	教育相談担当 進路指導担当
	○教育相談の充実	○年で最低2回は教育相談を行う。 ○スクールカウンセラーとの情報交換会を毎月行う。	・1、2学期に教育相談を実施する。 ・スクールカウンセラーからの情報を生徒指導協議会で共有する。	A	・6月と11月に、全生徒教育相談を行うことができた。 ・毎月、スクールカウンセラーとSSWとの情報交換会を開くことができた。	A	・「学校内に悩みを話せる先生がいますか」の問いに対して、前期では76%生徒が肯定的な意見であったが、後期では84.7%の生徒が肯定的な意見となった。 ・前期アンケートでは、「早寝・早起きを心がけているか」の質問に82.7%の生徒が心がけていると回答しており、更なる生活習慣の学習の充実が求められる結果となった。	A	・卒業式に参加し、生徒の成長を強く感じた。生徒と教員の関係性がしっかりとできてきていることがよくわかった。	教育相談担当
●健康・体づくり	②「望ましい生活習慣の形成」	○「早寝・早起きを心がけているか」のアンケート結果の肯定的意見が85%以上。 ○「毎日朝食をとっている」のアンケート結果の肯定的意見が85%以上。	・定期的に、アンケートを実施し、「早寝・早起き・朝ごはん」の実態把握し、啓発・指導を行う。	B	・前期アンケートでは、「早寝・早起きを心がけているか」の質問に82.7%の生徒が心がけていると回答しており、更なる生活習慣の学習の充実が求められる結果となった。	A	・前期アンケートでは、「早寝・早起きを心がけているか」の質問に85.7%の生徒が心がけていると回答しており、前期より向上が見られた。	A	・本校の子供たちは、生活リズムが確立している生徒が多い。特に朝食をしっかりと摂っている生徒が多いことは素晴らしいことと考える。	保健体育科担当 生活指導担当
	④「安全に関する資質・能力の育成」	④児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。 ○防災に関する取組を年3回以上行う。	・1学期に交通教室と自転車点検を行い、生徒の意識を高める。 ・防犯に関する講演会に生徒だけでなく保護者の方も招待して行う。	A	・交通教室と自転車点検は、5月に行うことができた。特に自転車点検は、PTAの取組として、地域の方に協力してもらい行うことができたので、保護者にも意識してもらった取組となった。	B	・1月に生徒の交通事故が1件発生した。通学路を今年度に変更したところでの事故だったので、更なる注意喚起が必要である。	B	・昨年度交通事故が0件だった。新しく道路が交通事故が起きたということで、これからの指導を徹底してほしい。	安全担当
●特別支援教育の充実	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・OJTの日常化と連携による校務の役割分担を行い、時間外勤務を削減する。 ・定時退勤日を実態に即した日に設ける。	B	・4月から10月までの時間外勤務において、100時間以上が2名、80時間以上が9名といまだに多い状態である。改善を促していかなければならない。	A	・11月から3月までの時間外勤務において、100時間以上が0名、80時間以上が1名になり、前期と比較して大きく改善された。	A	・昨年度より改善されていると思われる。時間外勤務が減ったが、先生方は仕事が減ったと実感しているのかが知りたい。 ・働き方改革の意義を教員同士で話すことも大事と考えます。	教頭
	○部活動の活動時間の適正化	○教育委員会規則に掲げる部活動の活動時間を遵守する。	・部活動の計画的な運営と休養日を実施する。	A	・部活動においては、教育委員会規則に掲げる部活動の活動時間を遵守することができた。	A	・後期も、教育委員会規則に掲げる部活動の活動時間を遵守することができた。	A	・部活動に関しても、しっかりと取り組まれていると思う。 ・地域部活動に関して詳しく知りたい。	部活動担当
○インクルーシブ教育の推進	○すべての教室でユニバーサルデザインを意識した環境づくりを行う。	○板書や掲示物等を各クラスの生徒の特性に合わせるように工夫をする。	・板書や掲示物等を各クラスの生徒の特性に合わせて工夫をする。	A	・どのクラスも板書や掲示物等を各クラスの生徒の特性に合わせて工夫をすることができた。	A	・後期も、すべてのクラスにおいて、板書や掲示物等を各クラスの生徒の特性に合わせて工夫をすることができた。	A	・特別支援教育に関しても、本校は十分に取組んでいるとおもう。教室環境もきちんと整理されている。	特別支援コーディネーター

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率80%以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率80%以上	・授業参観日に、地域の文化や人材等を生かした体験学習を積極的に行う。 ・小中学校での乗り入れ授業や交流活動を積極的に行う。	A	・全学年とも教科「日本語」の授業において、日本文化について地域の専門家から、充実した指導を受けることができた。 ・11月に6・8交流の生徒の実行委員形式で行うことができた。	
○開かれた学校づくり	○地域と連携した学校づくりの推進	○保護者、地域の方の学校行事への参加者増を目指す。 ○地域の人材を生かした授業や講演会を2回以上設定する。	・各種よりや通信、HP、メール等を活用し、行事等の情報の発信を行う。 ・コミュニティ・スクールの運営を通し各種団体、地域等に協力を依頼し、教育活動の活性化を図る。	A	・今年度もコミュニティスクールの委員会を中心に「大人としゃべり場」を企画して頂き、実行することができた。	A	・地域の行事(餅つき大会や文化祭)の司会者として中学生が積極的に参加することができた。	A	・6月に行った「大人としゃべり場」では、昨年引き続きフォークダンス方式で行うことができた。参加された地域の方からも称賛の声をいただいた。 ・その他の地域の行事も中学生がたくさん参加してくれた。	教頭

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度に引き続き、教師と生徒の関係性を高めることに努力をする。 ・今年度の反省から交通安全の意識を高めることに努力をする。 ・教師の働き方改革への意識をさらに高める必要がある。
----------------	---

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育